

## 本庁舎竣工記念式典・内覧・祝賀会 を挙行

去る6月20日、本庁舎大会議室において竣工記念式典を挙行了しました。同式典には宮田亮平文化庁長官をはじめ約230名に出席いただき、本庁舎の完成をお祝いいただきました。

式典では、松村所長からご出席いただいた方々や竣工に尽力くださった方々への感謝と本庁舎の完成を一つの節目として、心新たに文化財の調査研究業務に邁進していく旨の式辞が力強く述べられました。

その後、工事概要説明、宮田文化庁長官からの祝辞および祝電披露がありました。また、多くの報道陣を前に、宮田長官ら来賓の代表者と松村所長により、天平衣装の女性たちが威儀を正す中でテープカットがおこなわれました。

式典後の内覧では、真新しい庁舎内の執務室や大極殿から朱雀門までを見晴らす眺望、温湿度管理された文化財保管庫やCT等の最新研究設備、建設時に発見された遺構の表示等をご覧いただきました。

会場を平城宮跡資料館講堂に移しておこなわれた祝賀会では、鈴木元所長のご挨拶、田辺前所長のご挨拶・乾杯の発声の他、豊城文化庁文化財鑑査官や寺社関係者からも本庁舎竣工を祝うご挨拶をいただき、盛会のうちに終了しました。

奈良文化財研究所は創設以降、過去の庁舎はいずれも既設の建物を改修しての利用であり、今回はじめて新設の建物となりましたが、発掘調査時に遺構が確認されたことから大きな設計変更をおこない、当初予定から2年遅れでの竣工となりました。移転は9月におこなわれ、10月から本格的に運用を開始する予定です。 (研究支援推進部 津寄 憲治)



230名を超える出席者に見守られてのテープカット